

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	荻原幹子
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3354
事務事業名	4112 健康増進事業						
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課						
施 策	01010100 健康づくりの充実						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	040103 衛生費・保健衛生費・健康づくり推進費					
	事業	020000 健康増進事業					
事業目的				事業概要・効果			
健康づくりの指標となる「第2次須坂市健康づくり計画」に基づき、保健指導、健康講座などを行い、生涯を通じて生活習慣病予防を主体的に実践する市民を増やす。				「生涯健康都市すざか」を目指し、市民1人ひとりが「自分の健康は、自分でつくり守る」ために健康増進に関わる事業を実施する。健康に対する意識を持ち実践する市民を増やすことで、生涯にわたり健康で暮らせる須坂市を目指す。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
全地域公民館とおでかけ健康教室、健康まつりの開催、食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施ー須坂エクササイズ出前講座、健康おすそわけツアー など	全地域公民館とおでかけ健康教室、健康まつりの開催、食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施ー須坂エクササイズ出前講座、健康おすそわけツアー など
平成29年度 実績	平成30年度 実績
健康まつりの開催、食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施ー須坂エクササイズ出前講座、健康おすそわけツアー 健康スムージーの普及など	健康まつりの開催、食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施ー須坂エクササイズ出前講座、健康おすそわけツアー、健康応援教室、健康スムージーの普及 など
平成31年度 予定	令和2年度 予定
健康まつりの開催、食育事業の実施 健康長寿発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトの実施ー須坂エクササイズ出前講座、健康おすそわけツアー、健康応援教室、健康メニューの普及、健康スムージーの普及 など	健康まつりの開催

指標名	「体重計にのろう」実践の表彰				
算式	累計表彰者数				単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標	358	439	430	500
	実績	368	382	396	
指標選定の理由	生活習慣病予防を主体的に継続的に実践している指標として設定				
最終年度目標の根拠	26年度の実績を基に算出（年間36人表彰）				
指標名					
算式					単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位 人
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		24,437	23,893
特定財源	国庫支出金	4,161	2,825
	都道府県支出金	222	298
	地方債	0	0
	その他	143	2,214
一般財源		19,911	18,556
人員数(人)	正規職員	2.2	1.7
	嘱託職員	2.2	2.3
	臨時職員	0.0	0.6
人員コスト	正規職員	15,730.0	12,155.0
	嘱託職員	6,325.0	6,612.5
	臨時職員	0.0	747.0
	計	22,055.0	19,514.5
市民一人当たりの経費		0.9	0.8
総額		46,492.0	43,407.5

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	497	健康教室講師謝礼476
11節 需用費	2,297	健康教室、食育事業事務用品1,401 健康カレンダー、ウォーキングマップ印刷製本費896
13節 委託費	35	尿中塩分測定検査35
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	9,501	健康まつり実行委員会負担金419 研修会負担金32、信州須坂健康スモーザー推進協議会負担金9,050
その他	12,107	嘱託職員報酬5,016 共済費767 臨時職員賃金 2,782 旅費186 役務費434 バス借上料 305

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	954	健康教室講師謝礼185、創生プロジェクトセミナー等講師謝礼276、健康づくり講座謝礼30 歯・食育事業講師謝礼434、食育関係29
11節 需用費	2,166	健康教室・食育事業事務用品1,345、健康講座チラシ・健康カレンダー・ウォーキングマップ印刷製本費800、食糧費5、燃料費16
13節 委託費	123	尿中塩分測定検査83、歩行姿勢測定システム保守・カラープリンター保守40
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	6,290	健康まつり実行委員会負担金600 研修会負担金40、信州須坂健康スミージー推進協議会負担金5,650
その他	14,360	嘱託職員報酬8,160 共済費1,260 臨時職員賃金3,300 旅費295 役務費631 使用料229

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	第2次健康づくり計画、第3期須坂市食育推進基本計画に基づき、生涯を通じて生活習慣病予防を主体的に取り組めるよう事業を実施している。 市民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくり守る」ための、健康増進実施は必要な事業である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	子どもの頃からの健康習慣は大切であり、食育、歯の健康等保育園や小中学校と連携し効果的に実施している。 。子どもの「毎朝朝食を食べる割合」は改善が見られている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	ボランティアの育成、支援を行い、地域の方々の力を生かしながら事業を実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

子どもの頃からの生活習慣病予防への取組みや、前年より多くの町でウォーキング教室を開催してもらうことができた。市民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくり守る」ための取組み支援や、子どもの頃からの生活習慣病予防を継続して進め、フレイル予防も含めた若い世代からの健康づくりと、介護予防と一体的な保健事業の検討が課題である
 信州須坂健康スミージー推進協議会による健康スミージーの普及に取組、野菜果物の摂取や飲食店での販売を進めることができた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>健康スミージの普及や健康発信都市「須坂JAPAN」創生プロジェクトについて実績に基づき見直しが必要 若いころから健康増進に取り組むとができる環境づくりが必要</p>		<p>「須坂JAPAN 創生プロジェクト」は、実績による精査と見直しが費用だが、食育の推進、生活習慣病の予防に係る事業については、むしろ福祉施策との連携も検討しながら継続が必要</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	